

環境分野 政策1 「自然とひとが調和した快適な空間の保全と創出」

<p><b>1 目指す姿</b></p> <p>豊かな自然環境と調和した良好な生活環境が保全されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境への負荷が小さい事業活動やライフスタイルが定着し、大気・水・土壌環境が良好で、適度な静けさが確保された生活環境が保全されているとともに、市民、事業者、行政が積極的に温室効果ガスの削減に取り組んでいる。</li> <li>里山や水系が保全され、多様な生態系が守り育てられている社会の中で、生物多様性がもたらす食料や水、気候の安定など自然の恵みを持続的に享受している。</li> <li>住民等が清潔なまちに誇りを持ち、積極的に美化活動に取り組んでいる。</li> </ul>	<p>＜課題解決が進まない場合＞</p> <p>環境への負荷が低減されず、恵み豊かな自然環境と良好な生活環境が脅かされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題への関心の低下などにより、環境への負荷が大きい事業活動やライフスタイルが改まらず、大気・水・土壌環境の汚染や騒音・振動・悪臭問題が深刻化するとともに、温室効果ガスの削減活動が停滞している。</li> <li>郊外部の過疎化に伴う担い手不足などにより、里山や水系の荒廃が進行し、多様な生態系が損なわれることで、これまで得られていた自然の恵みが失われる。</li> <li>地域的美観保持に対する意識が低下し、住民等による美化活動が停滞している。</li> </ul>
--	---

＜参考＞ 現状分析・社会潮流（※基本構想原案には、重視すべき項目を中心に抜粋して記載）

		好影響	悪影響	
内部環境 (地域特性)	強み (+)	① 生活環境（大気・水環境など）が概ね良好な状態で保全されている（姫路の環境） ② 都市化に伴う環境問題に対する関心が高い（姫路市環境基本計画・アンケート調査結果） ③ 地域的美観保持に対する市民及び事業者の意識が高い（姫路市一般廃棄物処理計画・アンケート調査結果） ④ 自治会を中心とした地域団体によるまちの美化活動の実施	弱み (-)	① 大気・水環境の汚染や騒音・振動・悪臭に関する苦情が発生している ② 自治会加入率の低下に伴い美化活動への参加者の減少が懸念されている ③ 環境配慮型製品・サービスの研究・開発は負担が大きいと感じる事業者の存在
外部環境 (社会潮流・分野高・市民ニーズ)	機会 (+)	① SDGs、パリ協定など持続可能な社会の形成が国際的な潮流となっている ② 地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動（COOL CHOICE）の推進（国） ③ 再生可能エネルギーの普及 ④ 生物多様性の保全に対する関心の高まり	脅威 (-)	① ヒートアイランド現象の進行 ② 温室効果ガスの増加に伴い、日本における年平均気温の上昇 ③ 生物多様性の損失による絶滅危惧種の増加 ④ マイクロプラスチックによる海洋生態系への影響が懸念されている

2 目指す姿を実現するための方向性

＜参考＞現総合計画の施策[第4次実施計画の該当ページ]

- A 都市のホスピタリティの向上（観光地の美観向上）[P46]
- B 恵み豊かな環境を守る活動の推進[P121]
- C 水と緑を活かした自然とのふれあいの促進[P122]
- D 良好な生活空間の確保[P123]

3 市民、地域、企業・団体に期待すること

※ 姫路市まちづくりと自治の条例に規定する基本原則（協働の原則）に基づき、市民、地域、企業・団体それぞれの主体にまちづくりにおける協働をお願いするもの。

<p>（審議会において）ご意見をいただきたい事項</p>
<p>1 「目指す姿」について</p>
<p>2 「目指す姿を実現するための方向性」について</p> <p>＜主な検討課題＞</p> <p>ア 環境への負荷が小さい事業活動、ライフスタイルをより定着させるためには？</p> <p>イ マイクロプラスチックによる海洋汚染への関心を高めるためには？</p> <p>ウ 生物多様性の保全に対する取組を進めるためには？</p> <p>エ 地域的美化活動を維持していくためには？</p> <p>オ 環境政策を契機として、新エネルギーや再生可能エネルギーの普及に向けた技術開発や自然環境が有する機能の活用を促進するためには？</p>
<p>3 「市民、地域、企業・団体に期待すること」について</p>